

活用データ名・指標名	指標ID	単位	備考	データの値												全国平均等との比較	全国平均等との乖離について理由・問題点等の考察(仮説の設定)	設定した仮説の確認・検証方法	問題を解決するための対応策(理想像でも可)
				自保険者			都道府県平均			全国平均									
				R2	R3	R4	R2	R3	R4	R2	R3	R4							
認定率	B4-a	%	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3月報)	14.3	14.7	15.0	18.0	18.4	18.7	18.7	18.9	19.0	・認定率・調整済み認定率、調整済み認定率等は、調整済み認定率を高く抑えていることにより、認定率自体が低く、その結果、重度認定率が低くなったと考える。	前期高齢者の割合が比較的高い。前期高齢者の割合は本市47.5%、国45.6%、県44.9% ・B2-a調整済み認定率のうち、前期高齢者の割合は本市32%、国33%、県5.3%	年齢とともに介護度が重度化する傾向にあるため、前期高齢者の割合から過度な運動や外出等の習慣をつけることにより、総合事業や介護予防事業等の実施により、重度化を抑制することが重要と考える。				
調整済み認定率	B5-a	%	見える化・時系列(他地域と比較)(R2及びR3は年報、R4はR5/3月報)	16.6	17.0	17.0	18.8	19.1	19.2	18.7	18.9	19.0	・調整済み認定率は、全国平均・県平均を上回っている。	・B5-a調整済み認定率のうち、要支援の割合は本市22%、国21%、県5.3%	また、高齢独居世帯は介護度の重度化を加速する可能性が高いため、家族や地域で支え合う環境づくりが重要と考える。				
調整済み重度認定率(要介護3~5)	B6-a	%	見える化・時系列(他地域と比較)(R2及びR3は年報、R4はR5/3月報)	6.8	7.1	6.9	6.5	6.5	6.7	6.4	6.5	6.5							
調整済み軽度認定率(要支援1~要介護2)	B6-b	%	見える化・時系列(他地域と比較)(R2及びR3は年報、R4はR5/3月報)	9.8	9.9	10.0	12.3	12.5	12.5	12.3	12.4	12.5							
受給率(施設サービス)	D2	%	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3サービス提供分まで)	2.5	2.5	2.5	2.4	2.4	2.4	2.8	2.8	2.8	・施設サービスは、全国平均・県平均を上回っている。	認定率が低いため、相対的に低くなる傾向があるが、老健施設・特定施設の入居者生活介護は、介護認定率が高いため、施設サービス及び居住系サービスが平均程度になったと考える。	・B6-a調整済み重度認定率 本市9.9%、国8.9%、県6.7%	中重度認定者を支える「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」や「看護小規模多機能型居宅介護」等の充実を図る。			
受給率(居住系サービス)	D3	%	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3サービス提供分まで)	1.4	1.4	1.5	1.7	1.7	1.7	1.3	1.3	1.3	・居住系サービスは、全国平均を上回っている。						
受給率(在宅サービス)	D4	%	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3サービス提供分まで)	7.6	7.7	7.8	9.1	9.5	9.8	9.9	10.2	10.4	・在宅サービスは、全国平均・県平均を下回っている。						
受給者1人あたり給付月額(在宅および居住系サービス)	D15-a	円	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3サービス提供分まで)	131,547	134,032	135,804	135,004	136,322	136,507	129,423	130,298	130,071	・在宅及び居住系サービスは、全国平均・県平均を上回っている。	・市内サービス毎の定員数および、国等との給付月額や利用日数の差が生じていると考える。	・D29-D30要支援・要介護者1人あたり定員数(通所介護) 本市0.109人、国0.117人、県0.078人	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、施設サービスと在宅サービスを併せて、地域密着型サービスの小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型居宅介護の充実を図る。			
受給者1人あたり給付月額(在宅サービス)	D15-b	円	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3サービス提供分まで)	118,335	120,610	121,772	120,733	122,199	122,285	118,281	119,151	118,718							
受給者1人あたり給付月額(訪問介護)	D17-a	円	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3サービス提供分まで)	63,737	63,200	64,690	70,941	72,791	74,615	73,426	75,248	76,919	・訪問介護は、給付月額・利用日数ともに、全国平均・県平均を下回っている。	・新型コロナウイルスの影響により、通所サービスの利用控えがあり、その代替として訪問サービスの利用が増加したと考えられる。	・D30-D31 本市0.055人、国0.044人、県0.021人 ・特定施設入居者生活介護 本市0.165人、国0.045人、県0.090人 【認知症対応型通所介護】 本市0.003人、国0.006人、県0.006人 【小規模多機能型居宅介護】 本市0.007人、国0.013人、県0.011人 【認知症対応型共同生活介護】 本市0.027人、国0.032人、県0.030人 【看護小規模多機能型居宅介護(通所)】 本市0.003人、国0.002人、県0.002人 【地域密着型通所介護】 本市0.036人、国0.037人、県0.040人				
受給者1人あたり利用日数・回数(訪問介護)	D31-a	回	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3サービス提供分まで)	21.3	21.1	21.5	22.5	23.2	23.8	25.1	25.6	26.2							
受給者1人あたり給付月額(訪問介護)	D17-b	円	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3サービス提供分まで)	57,930	56,995	55,491	66,198	66,107	64,705	62,559	62,640	61,810	・訪問介護は、給付月額・利用日数ともに、全国平均・県平均を下回っている。						
受給者1人あたり利用日数・回数(訪問介護)	D31-b	回	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3サービス提供分まで)	4.7	4.5	4.4	5.1	5.1	4.9	5.0	5.0	4.9							
受給者1人あたり給付月額(訪問看護)	D17-c	円	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3サービス提供分まで)	43,690	45,928	45,477	45,111	45,568	45,368	41,148	41,445	41,295	・訪問看護は、給付月額・利用日数ともに、全国平均・県平均を下回っている。						
受給者1人あたり利用日数・回数(訪問看護)	D31-c	回	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3サービス提供分まで)	8.5	8.7	8.6	9.6	9.7	9.7	8.8	8.9	8.9							
受給者1人あたり給付月額(訪問介護)	D17-d	円	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3サービス提供分まで)	39,220	38,419	42,715	36,218	37,164	36,730	33,726	34,160	33,674	・訪問介護は、給付月額・利用日数ともに、全国平均・県平均を上回っている。	・高齢者世帯の割合が低く、高齢者を含む世帯及び高齢夫婦世帯の割合が高いことから、同居家族による介護を受けられ、訪問介護及び訪問入浴介護の給付月額・利用日数が少ないと考える。					
受給者1人あたり利用日数・回数(訪問介護)	D31-d	回	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3サービス提供分まで)	13.2	13.0	14.5	12.0	12.2	12.1	11.5	11.7	11.5							
受給者1人あたり給付月額(居宅管理型介護)	D17-e	円	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3サービス提供分まで)	13,046	12,141	13,517	13,457	13,875	13,933	11,888	12,220	11,886	・居宅管理型介護は、給付月額・利用日数ともに、全国平均・県平均を上回っている。	・A7-a高齢独居世帯の割合 本市10.9%、国12.1%、県10.9%					
受給者1人あたり給付月額(通所介護)	D17-f	円	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3サービス提供分まで)	86,130	86,774	87,554	76,639	76,650	75,326	85,006	84,960	83,257	・通所介護は、給付月額・利用日数ともに、全国平均・県平均を上回っている。	・A6-a高齢者を含む世帯の割合 本市40.9%、国40.7%、県35.6%					
受給者1人あたり利用日数・回数(通所介護)	D31-e	日	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3サービス提供分まで)	10.7	10.9	10.9	9.5	9.6	9.4	10.9	11.0	10.7							
受給者1人あたり給付月額(通所介護)	D17-g	円	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3サービス提供分まで)	66,741	68,564	66,451	63,109	63,567	62,638	59,317	59,650	58,136	・通所介護は、給付月額・利用日数ともに、全国平均・県平均を上回っている。	・A8-a高齢夫婦世帯の割合 本市12.8%、国10.5%、県9.9%					
受給者1人あたり利用日数・回数(通所介護)	D31-f	日	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3サービス提供分まで)	6.9	6.9	6.7	6.0	6.0	5.9	5.9	5.9	5.7	・通所介護は、給付月額・利用日数ともに、全国平均・県平均を上回っている。	・老健施設が多く整備されていることから通所介護の事業所数が多く、通所介護の給付月額・利用日数が多いと考える。	・K1-cサービス提供事業所数(老健施設)【認定者1万対】 本市6.89、国6.32、県4.75 ・K3-hhサービス提供事業所数(通所介護)【認定者1万対】 本市11.02、国12.42、県7.03 ・M1-a理学療法士の従事者数(1万対)【認定者1万対】 本市30.23、国29.42、県18.92 ・M1-b作業療法士の従事者数(1万対)【認定者1万対】 本市20.68、国16.35、県12.45				
受給者1人あたり給付月額(短期入所生活介護)	D17-h	円	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3サービス提供分まで)	75,588	79,521	80,618	99,706	100,827	99,594	108,510	109,769	108,557	・短期入所生活介護は、給付月額・利用日数ともに、全国平均・県平均を下回っている。	・市内の短期入所生活介護は、特養併設がほとんどであるため、給付月額・利用日数が少ないと考える。	・K3-m定期巡回のサービス提供事業所数(人口10万対) 本市1.3、国0.9、県1.0				
受給者1人あたり利用日数・回数(短期入所生活介護)	D31-g	日	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3サービス提供分まで)	8.8	9.1	9.0	11.1	11.1	10.9	12.9	12.9	12.7							
受給者1人あたり給付月額(短期入所療養介護)	D17-i	円	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3サービス提供分まで)	61,887	66,741	67,115	90,966	90,596	89,639	90,944	92,181	91,341	・短期入所療養介護は、給付月額・利用日数ともに、全国平均・県平均を下回っている。						
受給者1人あたり利用日数・回数(短期入所療養介護)	D31-h	日	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3サービス提供分まで)	5.4	5.9	6.0	7.7	7.6	7.5	8.1	8.2	8.1							
受給者1人あたり給付月額(福祉用具貸与)	D17-j	円	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3サービス提供分まで)	12,913	13,023	13,036	12,404	12,459	12,573	11,660	11,778	11,966	・福祉用具貸与は、給付月額・利用日数ともに、全国平均・県平均を上回っている。						
受給者1人あたり給付月額(認知症対応型通所介護)	D17-k	円	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3サービス提供分まで)	184,063	188,946	191,970	185,275	187,561	189,627	179,263	181,731	184,041	・認知症対応型通所介護は、給付月額・利用日数ともに、全国平均・県平均を上回っている。						
受給者1人あたり給付月額(介護予防支援・居宅介護支援)	D17-l	円	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3サービス提供分まで)	13,678	13,798	13,958	13,783	14,163	14,278	12,730	13,051	13,138							
受給者1人あたり給付月額(定期巡回・随時対応型訪問介護)	D17-m	円	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3サービス提供分まで)	151,839	152,770	171,054	179,696	181,917	188,544	159,009	161,593	166,008	・定期巡回・随時対応型訪問介護は、人口あたりの事業所数は多いが、給付月額が低い。利用による重要性は増しているが、利用者への浸透不足があるかもしれない。						
受給者1人あたり給付月額(夜間対応型訪問介護)	D17-n	円	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3サービス提供分まで)	31,797	21,482	28,911	29,048	27,108	28,314	39,191	37,505	38,815	・夜間対応型の給付月額は、全国平均を下回り、県平均を上回っている。						
受給者1人あたり利用日数・回数(認知症対応型通所介護)	D31-i	日	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3サービス提供分まで)	11.7	11.3	11.1	10.4	10.4	10.1	10.8	10.9	10.6	・小規模多機能型居宅介護は、人口あたりの事業所数は少ないが、加算の取得をすることで、給付月額を上げている可能性がある。	・K3-p多機能のサービス提供事業所数(人口10万対) 本市2.5、国4.5、県3.8					
受給者1人あたり給付月額(認知症対応型共同生活介護)	D17-o	円	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3サービス提供分まで)	261,104	258,343	266,605	268,236	270,820	272,572	256,463	258,749	260,639	・認知症対応型共同生活介護は、給付月額・利用日数ともに、全国平均・県平均を上回っている。						
受給者1人あたり給付月額(地域密着型特定施設入居者生活介護)	D17-p	円	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3サービス提供分まで)	0	0	0	200,459	204,618	211,615	195,137	198,287	198,574	・看護小規模多機能型居宅介護は、市内1事業所のみであるが、人口あたりの事業所数は平均程度である。給付月額が低いのは、加算の取得が少ないからかもしれない。	・K3-q看護小規模多機能型居宅介護事業所数(人口10万対) 本市0.6、国0.7、県0.7					
受給者1人あたり給付月額(地域密着型通所介護)	D17-q	円	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3サービス提供分まで)	71,872	71,817	69,869	69,888	69,467	67,932	77,098	76,705	74,762	・認知症対応型共同生活介護は、全国平均を上回り、県平均を下回っている。						
受給者1人あたり利用日数・回数(地域密着型通所介護)	D31-j	回	見える化・時系列(R2及びR3は年報、R4はR5/3サービス提供分まで)	9.2	9.2	8.9	8.7	8.7	8.5	9.7	9.7	9.4							